

アートフィールドウォーキングガイド

2024 vol.5 (紙巻469号)

ギャラリー

5

GALLERY

[私の10点] 隠地 妙

[海老塚耕一の作家対談・鼎談 第5回]

《解答のない問い、そしてあるいは…》

ゲスト・飯嶋桃代 司会・海老塚耕一

5月の全国美術展【美術館／百貨店／画廊】スケジュール&マップ

Monochrome 展



色彩を極限までしぼった白と黒の世界に焦点当てた展覧会。20 世紀フランスの巨匠ベルナール・ビュッフェは抱いた感情を力強い筆勢に込めた具象画を描き、藤田嗣治は日本の面相筆と墨で細い輪郭線を引いた作品で多くの人々の心を捉えた。中国出身でパリ在住のチェン・ジャン・ホンは今展のための新作で、東洋と西洋の美を融合させた独自の抽象画を生み出した。国内外の 21 作家のモノクローム作品から作家個々の核が見えてくるだろう。

5月18日→6月16日
 ギャラリーためなが
 東京都中央区銀座 7-5-4

大沢拓也 「sound of water」91 × 73 cm
 木製パネル・岩絵具、錫粉、樹脂塗装

高尾岳央個展 「Panorama」

高尾岳央は現代における風景画を追求し、文字や記号、写真、建物などをモチーフにしなが、時間によって移り変わる風景を1枚の絵の中に表現する。その表現の原体験には車窓からの風景があるという。今展では、京都を拠点に活動を行う高尾自身が目にした風景から、たびたび訪れる東京の都市の風景まで、日常を過ごす中で目前と思考の中に現れる Panorama（広大な風景）を独自のアプローチで複層的に表現する。

4月24日→5月11日
 WALL_alternative
 東京都港区西麻布 4-2-4 1F



「帆／エンジェル」